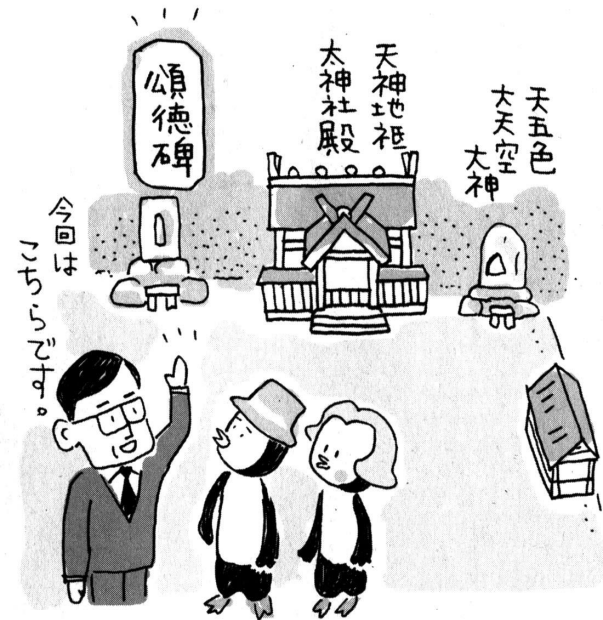


公徳碑を参拝しよう

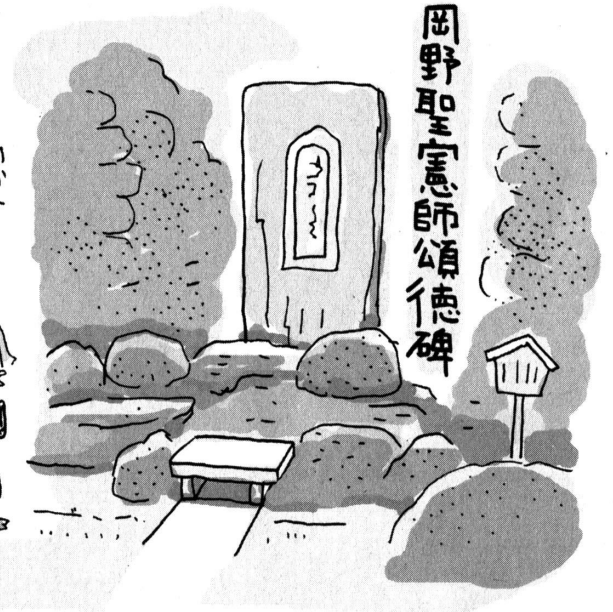


今回は  
 公徳碑です。

しょうとくひ...  
 公徳碑とは  
 “徳をほめたたえる”  
 という意味です。  
 生前中、社会に大きく  
 貢献した故人の徳を  
 たたえて建てられます。



いずれは  
 ペン次郎  
 公徳碑も...  
 未来永劫  
 ためりえ  
 ません。



「しょうとくひ  
 公徳碑」  
 と語られます。  
 何かお母さん  
 がある  
 ーズー deen  
 「おがのせんこう  
 師公徳碑」

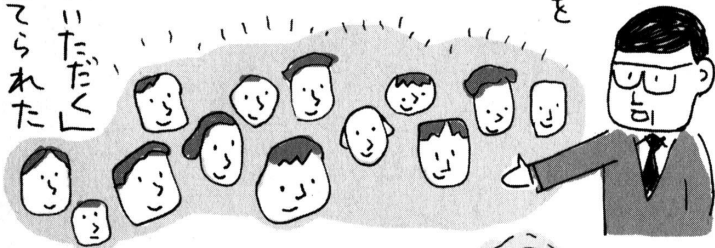


さうですね  
 生前に建てることは  
 異例なのです。

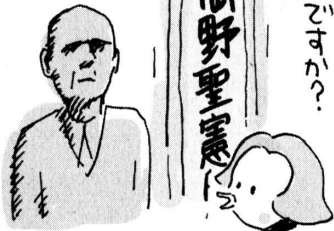
でもこの公徳碑は  
 金剛さまの生前に  
 建てられたのです。  
 そんなこと  
 ありませんか

金剛さまから  
受けた思慮が  
それだけ大きかった  
からです。  
金剛さまの還暦を  
祝うため、会員の  
間で頌徳碑  
建設の「連立」  
が高まりました。  
よかったです。

金剛さまも  
会員たちの熱い  
思いを受けとられ  
「謹んで受けさせていたたく  
と承諾されて建てられた  
のです。」



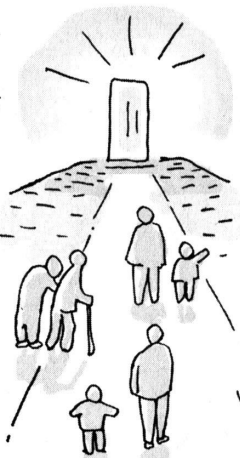
この見事な文字は  
どなたが書かれた  
のですか？



それは  
内閣総理  
大臣も称められた  
米内光政(よないみつまさ)  
元海軍大将という方が  
書かれました。



たんに石に  
刻めば永久に  
残り、後世の  
人に伝えること  
ができますね



おいらも  
後世に  
残そう！  
誰も見ない  
と思うけど...



除幕式の様子

「頌徳碑こそ師弟の  
情愛の細やかな  
物語るもの」と

金剛さまは申されました。



我が子同然に思ひ  
愛された会員の真心に  
金剛さまのまごころは  
大きかったと思われま



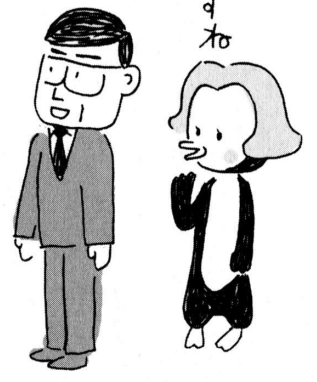
頌徳碑は、金剛さまと  
会員の師弟の情愛の  
美しさを表わすもの  
として「美の象徴」と  
言われています。



美の象徴・頌徳碑●頌徳碑  
に会員が込めたものは、金  
剛さまへの尽きせぬ尊敬の  
念と感謝の真心です。金剛  
さまが日々会員に寄せられ  
たのは、一人ひとりが真に  
目覚め幸せになつて欲しい  
との慈愛と願ひである  
と拝察されます。この美しい  
慈愛と敬愛が一つの形にな  
ったものが頌徳碑です。頌  
徳碑はまさに美の象徴です。  
また頌徳碑は、世のため人  
のために尽力された金剛さ  
まの御徳を称えた碑です。  
人間として気高く美しい人  
生を拝するという意味でも  
頌徳碑は美の象徴といえる  
でしょう。

金剛さまの人生は  
 会員のお手本なんですわ  
 金剛さまは  
 「私が亡くなった後、  
 みんなはこの碑の前で  
 私と話をするのだけ  
 と申されたといひます。」

実際に頌徳碑の  
 前でふさわしい答へ  
 がいただけた会員へも  
 いそいでますよ。



本当です。  
 金剛さまの名言  
 言葉を信じていか  
 ら念じられずま  
 お話ができるはずですよ。

金剛さま  
 私にも何か  
 お願いしたいです

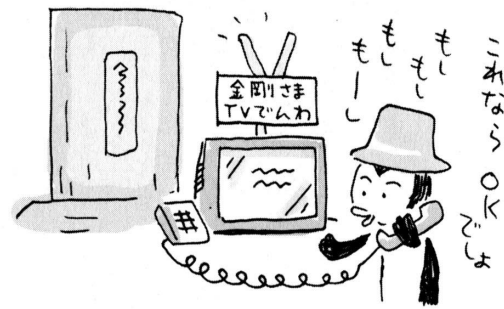


それでは金剛さまの  
 弟子とやらせていただいた  
 御礼と、弟子として  
 恥ずかしくない生き方が  
 できますように、と  
 折言いを込めて  
 参拝しましょう。

頌徳碑  
 礼拝



そつだ！今は  
 情報化社会  
 ですから



●頌徳碑と米内光政閣下●岩手県出身の米内光政閣下は、昭和15年には総理大臣を務めるなど清廉な人柄で知られた海軍大将であり、終戦時は海軍大臣として海軍内を掌握、終戦の実現に大きく貢献した人です。金剛さまは、浦和市海軍協会の野崎大佐を介して米内閣下と知り合われ、そのお人柄を敬愛されておられました。このことをよく知っていた当時の先覚者は、ぜひ揮毫(字や絵をかくこと)をと米内閣下に願い出しました。総理大臣を務められたにもかかわらず謙虚であった米内閣下は、「私のような者が、そのような尊いものを書かせていただくわけにはいかない」と一度は辞退されたのですが、最後には先覚者の熱意を受け入れて下さったそうです。その後、米内閣下は昭和18年5月1日に北本を訪れられ碑を見られています。

